

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円

【2005年7月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！

もくじ

	ページ
会計王デモ講座 / 移送サービス運転者講習会	2
NGO / NPOを再考する講座	3
コミュサポ / まちづくり支援奨励金	4
ワードデザイン講座 (チラシ編) / コラム	5
研修日誌 / バンク情報 / 法人数	6
グリーンファンド / 星槎WEEK (芦別)	7
NPOサポート事業紹介	8
NPOな・・・(書籍・イベント紹介)	9
情報BOX (イベント案内)	10 ~ 11
助成金情報	11 ~ 12



NPO法人設立支援講座開講のお知らせ

～短期集中5回講座～

7月22日(金)開講(火曜、金曜)午後コース13:30～16:00

7月22日(金)26日(火)29日(金)8月2日(火)5日(金)の5回
会場 北海道NPOサポートセンター札幌ビル研修室

(札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階)

(担当: 小林、山本) 5回×2時間30分。合計12時間

5回で一人12,600円(税込み)(資料・テキスト代込み)

1団体から複数で応募される場合(2人目以降半額)

【講座内容】

第1回「なぜNPO法人をつくりたいの?」～「NPO法人設立の手順」「設立趣旨書のつくりかた」

第2回「定款のつくりかた」～定款作りのポイント

第3回「事業計画書の作り方」設立初年度、2年度分の事業計画づくりのポイント

第4回「収支予算書の作り方」設立初年度、2年度分の計画づくりのポイント

第5回「その他の必要書類の書き方」「設立総会の開き方他」

参加対象者: NPO法人設立を考えている方で、パソコン(文字入力、表計算の初歩程度)ができる方
パソコンができない方は別途事前にPC講習を受けて頂きます。(詳細はお問い合わせください)

講座修了された方で引き続き法人申請サポートを希望される方には、別途申請相談を承ります。

【申し込み/問い合わせ】北海道NPOサポートセンター(松本・山本)

電話011-271-5208 FAX 011-281-8807

mail: npo@mb.infosnow.ne.jp

会計王 5 NPO Limited デモンストレーション 開催！ **参加無料**

NPO対応の会計ソフト(会計王5 NPO Limited)を体感するデモンストレーションを開催します！
講師は、このソフトを監修したエーピーアイ・ジャパン代表瀧谷税理士。このソフトを使えば、エクセルや他の会計ソフトを使うよりもサクッと簡単・便利に会計を行うことが可能です。

もう会計で困ることはありませんヨ！ ぜひこの素晴らしいさを体感してください！

このデモンストレーションに参加された方には、会計王5 NPO Limited の体験版CD-ROMをプレゼント！ さらに、「会計王5 NPO Limited」の購入を直接お申込み頂いた場合は、ステキな特典が！！

会計王5 NPO Limited の特徴

- ・ NPO専用の勘定科目が自動で設定可能。
- ・ 「非営利事業」と「収益事業」も部門管理により1つのデータで管理可能。
(もう別々に管理しなくても大丈夫！ しかも部門ごとに決算ができる！)
- ・ 「収支計算書」「財産目録」「貸借対照表」も事業ごとに簡単作成。
(データはエクセルでも編集・加工ができます)
- ・ 収益事業について、法人税申告用に損益計算書の作成も可能。

日時 / 1. 7月 9日(土) 14:00 ~ 16:00 2. 7月 11日(月) 18:30 ~ 20:30

(同じ内容で2回開催します)

会場 / 北海道NPOサポートセンター札幌ビル研修室

札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル8F

デモンストレーションの内容 /

- ・ 会計王の概要、初期設定
 - ・ 仕訳事例を見ながら日々の入力
 - ・ 決算処理、財務諸表の作成
- 対象者 /
- ・ 他のパソコン会計ソフトを使用されている団体、若しくは会計ソフトを導入しようとしている団体。
 - ・ NPO法人格のある団体(法人申請中でも可)

講師 / 会計王5「NPO Limited」監修者 瀧谷和隆税理士(NPO法人エーピーアイ・ジャパン代表)

参加料 / 無料

定員 / 20名(各回とも)(最少催行人員3名)(先着順)

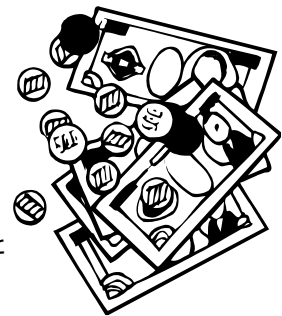
お申込み方法 / お申込み必要事項をご記入のうえ、北海道NPOセンターまで、Eメールか FAXで申し込み下さい。Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp FAX 011-281-8807

《お申込み必要事項》

お名前 / 所属団体 / 住所(団体事務所もしくは自宅) / 電話 / FAX / Eメール / 希望開催日の番号(1か2) / 団体の主な活動内容 / 現在の会計の方法(手書き、エクセル等表計算、会計ソフト ソフトの名称も / その他講師に聞きたいこと

主催 / NPO法人 北海道NPOサポートセンター

共催 / NPO法人 エーピーアイ・ジャパン



2005年度第3回 移送サービス運転協力者講習会

この講習は、2004年3月に国土交通省が示した道路運送法80条に基づく法的位置付け「NPO、市区町村社会福祉協議会、社会福祉法人、医療法人などによる有償運送の許可」(通称:ガイドライン)に示された「移送サービス運転協力者講習会」です。

開催日 : 7月30日(土)・31日(日)

場所 : 札幌市北区北7条西5丁目5-3 札幌千代田ビル11F 定員 : 40人

参加費 : 10,000円(STネット北海道会員) 13,000円(STネット北海道非会員)

締切は、7月22日(金)になっております。

主催 : 北海道移送・移動サービス連絡会(STネット北海道)

共催 : 移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会

後援(予定) : 北海道・北海道社会福祉協議会・札幌市・札幌市社会福祉協議会・

DPI北海道ブロック会議・北海道NPOサポートセンター・北海道介護NPO連絡会

問合せ・申込先 : STネット北海道事務局

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目1-55 ほくろビル5階 DPI北海道ブロック会議内

TEL : 011-219-5687 FAX : 011-219-5688 <http://www.stnet-hokkaido.jp/>

e-mail : info@stnet-hokkaido.jp

【NGO・NPOを再考する】講座のご案内

NGO・NPOは、近年、日本においても既存の社会構造を変えていく新たな担い手として期待され、一定の認知を受けるようになってきました。しかし、それとともにNGO・NPOの捉え方や活動のあり方にも幅ができ、混乱を招くようになってきています。NGO・NPOは国家や自治体、企業とどのような関係にあるべきなのか、市民社会の構築に本当に役立っているのか、そもそも既存の組織と何がどのように異なるのかなど、NGO・NPOの存在のあり方を今一度問い直し、向かうべき方向性を検討していきたいと思えます。(テーマ1・2は既に修了)

テーマ3「各論～市民視点からずれないNGO/NPO～」お話しとワークショップ エスニコ芦田科子さん
NGO・NPOは、市民からどのように認知されているのでしょうか。肯定的?否定的?
それともどのように認知されるかは問題ではない?本来市民主体が特徴であるはずのNGO/NPOが一人ある
き・・・今、NGO・NPOがすべきことは
何なのか?市民の理解や認知を願うなら行動しましょう。

7月15日(金)18:30～20:30

会場:さっぽろ自由学校「遊」

受講料:単発 一般1,500円 会員・学生1,000円

共催:さっぽろ自由学校「遊」、北海道NGOネットワーク協議会、北海道NPOサポートセンター

問合せ:さっぽろ自由学校「遊」

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目 愛生館ビル207

TEL:011-252-6752 FAX:011-252-6751 syu@mbp.sphere.ne.jp

次回:2005年8月19日(金)

テーマ4「公益法人改革とNGO・NPO(予定)」

「公益法人改革」により、NPO法人が消えかけています。このことをキーワードに、NGO・NPOの位置付け、今後のあり方などを考えたいと思えます。

次々回:2005年9月9日(金)

テーマ5「NGO・NPOの組織論(予定)」

NGO・NPOが活動を継続させるためには何が必要なのでしょう。理念?情熱?収益性?公共性?人材育成?NGO・NPOが組織化する際の

矛盾について考えたいと思えます。

〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。 〇〇。

地域力向上全道フォーラム

～地域力向上による豊かな地域社会の形成に向けて～

北海道では、豊かな地域社会の形成に向けて、町内会・自治会やNPO、ボランティア団体など地域の方々連携し、防犯・防災や福祉、環境、子育て、教育など様々な課題を解決する地域力「地域力」の向上を図る取組みを進めております。この考え方を広くお知らせするため、次のとおりフォーラムを開催します。

地域活動、ボランティア活動、NPO活動などに興味のある方、是非ご参加ください。

開催日時 平成17年7月11日(月) 13:30～16:30

場所 かでる2.7「かでるホール」(札幌市中央区北2条西7丁目)

内容 講演:大阪大学大学院国際公共政策研究科教授 山内 直人氏
「ソーシャルキャピタルと地域力～豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」
講演:NHK「難問解決!ご近所の底力」司会 堀尾 正明氏
「ご町内から北海道が変わる～NHK「難問解決!ご近所の底力」にみる地域力」

パネルディスカッション パネリスト

大阪大学大学院国際公共政策研究科教授 山内 直人氏

NHK「難問解決!ご近所の底力」司会 堀尾 正明氏

NPO法人ボラナビ倶楽部代表理事 森田 麻美子氏

コーディネーター 札幌学院大学地域社会マネジメント研究科教授 河西 邦人氏

主催 北海道 後援 NPO推進北海道会議 他

参加人員 500名 参加費 無料

お申込み 電話、ファックス、メールのいずれかにて、下記のあて先まで参加をご希望される方のお名前、ご職業をお知らせください。定員になり次第受付を終了いたしますので予めご了承願います。

お問合せ先 北海道企画振興部地域政策課(担当:北風)電話 011-231-4111(内線23-464)

ファックス 011-232-1053 E-mail kitakaze.hiroshi@pref.hokkaido.jp



今年もやります！コミュサポ事業

昨年度札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体13団体とホームページ作成希望の110団体が参加して、コミュサポ事業を展開してきました。今年度は、新たに昨年参加した団体が新しい団体のサポートに廻るといった枠組みで取り組みます。地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体100団体のホームページをアップする予定です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩、当別、厚田、浜益、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳の10市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ…」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

▶ **募集・利用料** 募集团体数:100団体 **利用料:無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口へ、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。受付期間：2005年5月10日より--100団体になるまで！！

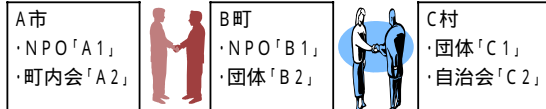
札幌広域圏組合 060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階
TEL:011-290-1313 FAX:011-290-1311

札幌広域圏組合広域連携まちづくり活動支援事業

まちづくり活動支援奨励金

1件30万円まで！

応募申し込み受付中！ 7月29日締め切り



対象団体

- ・市町村で活動するまちづくり団体が、他の市町村のまちづくり団体と共同で事業を行う。
(例)「A1」+「B1」+「C2」、「B2」+「C1」
- ・各団体は5人以上の構成員を有していること。
- ・政治・宗教及び営利活動を目的としない団体



支援対象経費

- ・謝礼金……………講師、専門家に対する謝礼金等
- ・材料費……………原材料費、備品購入費等
- ・資料費……………図書、文献等購入費
- ・宣伝費……………広告宣伝費
- ・印刷・複写費……パンフレット、資料等の複写費
- ・記録費……………録画費、録音費
- ・通信費……………通信運搬費
- ・運搬費……………機材等の輸送費
- ・会議費……………会場使用料等

など

対象事業

- ・地域連携、市民と行政の協働、まちづくりに関する調査研究事業
- ・ボランティア、子育て支援対策などを目的とした事業
- ・他の助成制度により補助を受けていない事業
- ・札幌広域圏域内での事業
- ・年度内に終了する事業
- ・親睦等が主目的でない事業



お問い合わせ先 札幌広域圏組合事務局 〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西1丁目
明治安田生命札幌北一条西ビル3F TEL:(011)290-1313 FAX:(011)290-1311
Mail:spkouiki@kouiki.chuo.sapporo.jp

簡単・効果的！ Wordでつくるグラフィック・デザイン講座【ちらし編】

開催イベントの告知や団体紹介のちらしを作りたいけれど「レイアウト・デザインがかっこよく決まらない…」という悩みをお持ちではないですか？

ポイントを押さえれば、レイアウト・デザインはとっても簡単！

汎用ソフト・Wordを使って、効果的なちらしデザインを楽しんでみましょう！

日時 2005年7月25日(月)18:30～20:00

内容 「1、掲載情報を整理してみよう」 デザインより、まず内容チェック！

何が一番伝えたいことなのか、見直してみましょう。

「2、ぴったりの素材を探そう」 文字ばかりのちらしは、見づらく、印象に残りにくいもの。

無料で手に入れられる素材でアクセントをつけてみましょう。

「3、さあ！レイアウト」 レイアウトは“メリハリ”が肝心。

資料を参考にすれば、いつもとはひと味違ったちらしが完成！

講師 天元 志保（てんもと しほ）

キャリア教育研究会メンバー、北海道大学国際広報メディア研究科研究生

印刷会社で4年間グラフィック・デザイナー、4年半企画営業職を務めた経験を持つ

場所 北海道NPOサポートセンター(札幌ビル8階)会議室(札幌市中央区北5条西6丁目)

対象 NPOの広報や事業運営担当者

人数 10人(先着順) 研修費 500円(税込み)

お申し込み・お問い合わせ 申込み 夜間コースのみ受け付けております。

ご住所・お名前・年齢をご記入の上、以下まで。

FAX 011-281-8807 e-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

問合せ 電話011-271-5208 (担当:松本、山本)

サポセンスタッフの落書きのコラム 松本 公洋

今日はちょっと堅めの話題を・・・。

先日、脱線事故から55日ぶりにJR福知山線(宝塚線)が復旧したので、この話題に触れてみたいと思います。私は乗り物で一番安全なのが鉄道だと思っていたので、大変驚きました。安全確認が徹底している・・・、そんなイメージを持っていました。数年前、医療事故の多発が話題になった際に、基本動作を声に出し指を差して確認する鉄道マンを見習えというような記事を目にしたことさえありました。

事故後にご承知のとおり、各方面の専門家を交えているいろいろな報道がされてきました。中には、運転士への給与の面での制裁が労働基準法に抵触するのではないかという報道もありました。

ですが、私の知る限り、この観点からは報道されなかったなと思えることがありました。それは、「交通バリアフリー法」です。(正式名称は長すぎて覚えていませんが、約5年前に施行されました)

簡単に言うと、障がいを持った人に配慮した交通施設の整備を中心に書かれた法律で、ほとんどがハード面に關するものです。ただ、その中には、「障がいを持った方への対応を職員教育でしなさい」とか、「乗り合わせた乗客も乗降を手伝いなさい」といった趣旨のことも記されています。(明文化されなくても当たり前のことになって欲しいのですが・・・)

さて、あの事故を起こした電車のダイヤでは、事故直前に停車した「伊丹駅」の停車時間はわずか15秒。これは、乗り降り可能な時間が15秒なのではなく、車両が完全に停止してから乗降後、ドアを締め安全確認し発車するまでの時間です。そうすると乗降時間は正味7～8秒でしょう。

もし、このダイヤで車いすの方が乗降しようとしたなら、足の不自由な方が乗降しようとしたなら・・・。おそらく遅れが生じるでしょうが、このような“正当な遅れ”でも回復運転を強いるのでしょうか。

現在は、余裕のあるダイヤで運転を再開したとのことですが、交通バリアフリー法でハード面をいくら整備しても、ダイヤに余裕がなければハンディのある人たちが気軽に外出できない気がします。

そして、どんなに立派な設備が整えられようとも、バリアはやはり“人の心”だと思っています。段差があつたって、2～3人で車いすを持ち上げれば、何てことないじゃないですか。もちろん、段差が無いに越したことはありませんが・・・。

と、いろいろ書きましたが、企業間の競争が激しくなれば何処も同じように本来の使命を忘れ、安全を疎かにせざるを得ない状況に追い込まれて行くのかもかもしれません。

ところで、NPOは？といいますが、NPOはミッション(使命)が第一ですよ。ですから、NPOにはこの行き過ぎた市場原理による競争を是正する役目もあるのかなあと思う今日この頃です。

【NPO会計講座の予定】好評をいただいている小沼千佳子の日常役立つ会計講座は、瀧谷税理士が担当する会計王5 NPO Limitedの体験無料セミナー(7/9(土)14:00～16:00、7/11(月)18:30～20:30)【2ページ参照】のあとを受けて、8月19日(金)20日(土)26日(金)27日(土)9月2日(金)で企画中です。乞うご期待！

NPO研修日記

2005年度 その3



谷口 直子

「とりあえず・・・」

6月の札幌は暑い日が多く、あやうく体調を崩すところでした。日頃あまり日光に当たる時間がな
いので、天気がいいときはなるべく外を歩くよう心がけていたのですが、あまりにも陽射しが強くて、
頭痛がするほどでした。以後、日陰を探しながら歩いています。

それにしても、北海道の陽射しは、年々強くなっているように感じられます。

もうかれこれ10年以上前の話ですが、学生時代、カナダへ旅行した時に、陽射しの強さに驚いた
ことを思い出しました。まさに陽に「射されている」といった感覚でした。

最近の北海道の陽射しは、そのときと同じように感じられます。

地球温暖化、オゾン層の破壊などの言葉が頭をかすめますが、問題が大きすぎて、あまりピンとこ
ないというのが正直なところでした。どうしたって、いずれは避けられない事態なのだろうと、半ば
あきらめているところもなきにしもあらずで、特に環境問題について勉強をしたり、行動を起こし
たりすることはありませんでした。

サポセンにきて、いろいろなNPOの活動を知る中で、これなら自分にもできるかな、というもの
がいくつかありました。ひとりでやっていると思うと、どうしても無力感が先にたってしまうですが、
他にも同じ気持ちで行動している人がいると思うと、元気づけられます。

何もしなければ何も変わらないので、ほんの小さなことでもいい、とりあえず、今の自分にできる
ことから、始めてみようと思います。

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第12回融資 申込期間 8月2日から8月18日まで / 融資実行9月下旬
融資申込みの際に必要な書類は下記 URL から取り出せます。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F

北海道NPOサポートセンター内 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 5月31日現在（内閣府のホームページ）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	23490	21996	139	420
道内の申請受理数 5月31日現在（北海道）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	859	813	0	20

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

NPO起業科 団塊世代向けコースの報告

「2007年問題」の解決の糸口を見いだすべく企画した団塊世代向けNPO起業科 昼間土曜コース 夜間
火・金曜コースを受講料12,600円で実施しました。NPOサポートセンター自主事業としては「高額」な受講
料設定にもかかわらず、北海道新聞報道で告知された効果もあり28名の方が熱心に受講されました。NPO
×クイズ、ビデオ、講義、事業企画発表と盛りだくさんの内容でした。豊富な配布資料とNPO実地見学が好評
でした。特に「コンカリーニョ」齊藤ちず代表は人気がありました。受講者の皆さんお疲れ様でした。（小林）

活動紹介 北海道グリーンファンド

市民風車・石狩（かりんぼう&かぜるちゃん）オープニング記念
～風車の電気を使った自然エネルギーコンサート～

6月18日石狩新港地区に完成した市民風車・石狩「かぜるちゃん」の下で「風が奏でる音楽祭」が開催されました。風車の電気を使った市民風車の完成式典とコンサートでした。風車は風まかせとありますが、ほんとに風頼みというイベントでお天気が心配でしたが、晴れ男と風女が集まったのでしょうか、ちょっと暑いぐらいの日差しと心地よい風で、のんびりとした初夏の一日を500人の市民出資者や関係者が交流しました。会場ではゴミゼロナビゲーションのEzorockメンバーが飲食容器などの分別回収を参加者にアピールし環境にやさしいイベントとなっていました。これで、グリーンファンドは4基の市民風車を運転することになります。



挨拶する杉山理事長

“オープンキャンパス「星槎WEEK2005」を開催（芦別市）”

7月29日～8月7日の間、市民の皆様が自由に参加できる講座体験学習を実施します。特に、芦別地域では日常的に触れることのできない文化芸術を気軽に参加できる内容として用意しました。これらは、**参加費無料と一部有料**であり、**小・中学生対象のプログラムが多数あります**。是非、参加し自由研究の一環としてはいかがですか。 **無料・有料（500円を予定）**

日時	開催場所	講座の内容
7月29日	星槎大学	公開講座“身近な微生物との共存” 森川和子教授 私たちの生活の中にある身近な微生物との共存の必要性について学びます。
7月30日	星槎大学	公開講座“高齢者の健康法実践講座” 服部由季夫講師 高齢者にあつた無理のない筋力トレーニング等の健康法で老化を防ぐテクニックを紹介します。
7月31日	星槎大学	公開講座“詩吟を楽しもう” 三浦国尚講師 初心者にも優しく分かり易く指導が受けられます。
8月1日	星槎大学	公開講座“自分史を書く” 天野一哉講師 自分の過去を振り返り、生きた証を残してみませんか。 公開講座“家庭で活かすカウンセリング術” 斉藤やす子講師 カウンセリングの技術は家庭内の様々な場面で有効であり、受講者参加型の講座を実施します。
	福祉センター	シンポジウム“身近な自然環境から学ぶもの” 身近な自然から学ぶ野外学習と環境教育を提案し一緒に考えます。 特別講演“人と自然とのかかわりを考える” 身近にある自然の素晴らしさに気づき、感動を味わうことの大切さを具体的な事例からの学習方法を提案します。 名古屋芸術大学教授 山田卓三氏
8月2日	星槎大学	公開講座“環境保護の最前線から 坪内俊憲助教授 自然保護の最前線で活躍する興味深い話が聞けます。
8月1・2・3日	市民会館大ホール 小・中学生対象	アンサンブル楽団と一緒に合唱と楽器を体験しよう 札幌音楽家協議会の協力により15人の音楽の専門家が参集、子ども達が楽器に触れながら合唱体験します。
8月3・4日	星槎大学校庭 小・中学生対象	体験学習“モンゴル・カザフスタン留学生による文化体験” モンゴルの移動式住居「ゲル」校舎を設置しゲルの中で民俗音楽・文化を体験します。
8月3日	市民会館中ホール	市民参加型研修会“地域の活性化を市民活動から考える” 地域の活性化を市民活動と地域教育力再生の観点から一緒に考えましょう。 日本女子大学教授 田中雅文氏 北海道NPOサポートセンター事務局長 小林董信氏
8月4日	市民会館中・大ホール 小・中学生対象 保護者・一般対象	体験学習“箏・尺八・三味線の演奏体験” 実際の楽器に手を触れ、演奏を体験します。 人間国宝である山本邦山氏編成(15人)の三弦合奏演奏会 箏・尺八・三味線の合奏演奏の迫力に驚きます。
8月6・7日	市民会館中ホール 小・中学生対象	体験学習“世界の打楽器を作成し演奏してみよう” 世界の打楽器を実際に作成し演奏会を開催します。指導は創造学園大学教授 生明慶二講師
8月6日または7日予定	市民会館大ホール 小・中学生・対象 一般も可	体験学習“北大交響楽団と一緒に交響楽団を体験” 北大交響楽団の50名の学生が参集し、子ども達と市民の皆様には交響楽団の素晴らしさ、迫力・一体感を感じさせます。 演奏は皆様が親しめる曲目を選定します。

詳細につきましては、星槎大学事務局（0124 24-3830）までお問い合わせ下さい。

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位：円，税込)

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

2004.7.1 改定

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料) 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)		基本料金	21,000~
NPO 法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上~(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代: 315円、 両面初版代: 525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500~
		支援費 1事業所	7,350~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625~

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専業会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします) 法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 IP 050-7541-4799

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00~18:00(月~土)(日、祝日休み) IP 電話 050-7543-3291

引越し・旅行・車検のことなら「**札幌**」は**こび愛ネット**をご利用ください!ご存知かもしれませんが、飛んで!車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。**どうやって利用するの?**申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札幌トラベル)、車検・自動車修理(札幌自工)と文房具(札幌商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌「はこび愛ネット」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063

書籍案内

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・ 設立登記（法務局）
- ・ 登記完了届（道庁）
- ・ 変更登記（法務局）
- ・ 事業報告書等の提出（道庁）
- ・ 任期満了に伴う役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 任期途中の役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 事務所移転（法務局と道庁）
- ・ 定款の変（法務局と道庁）

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円（税込）

2005年5月28日発行

発行 【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523
FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



講座案内

「伝えるコツを身につけよう

- NPOのための広報スキルアップセミナー」

日時 7月22日（金）10:00～18:00

場所 北海道NPOサポートセンター研修室
（札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階）

主催 NPO広報力向上委員会

協力 日本NPOセンター

北海道NPOサポートセンター

参加費 1000円（一人）

「伝えるコツ

- NPO 広報を考える 15 のヒント」について

講義：＜基礎編＞「伝えるコツをやってみよう」その1

講義：＜実践編＞「伝えるコツをやってみよう」その2

講師：白土 謙二氏（株式会社電通クリエイティブ・
プランニング・センター）

「NPOの広報ツールをみんなで考えよう」

コメント 白土謙二氏

進行 田尻佳史氏（日本NPOセンター事務局長）

NPOのチラシやパンフレットを事例として、事例へのコメントを中心に発信物づくりのポイントを学びます。

【参加申込・問合せ】北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp（担当 北村）



NPOな...

ガイドブック

札幌市介護保険・福祉サービス「事業所ガイドブック2005年度版」好評発売中

このガイドブックでは、札幌市内の介護保険・福祉サービス事業所 1,457 箇所及び札幌市内にサービス提供する市外事業所（名称、住所等の基本情報のみ）、札幌市在宅介護支援センターの情報を掲載しています。また、サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなどの情報が満載！です。

介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、配食、ミニデイ、移送、施設系の養護老人ホームなど各事業所（今年から生活支援ハウスも掲載）を網羅し、とって充実！

■価格：2,000円（税込み）
A4判（470ページ）送料別途



ガイドブック紹介

改訂版

さっぽろNPOのほん

札幌市内のNPO法人網羅！

北海道認証分376団体、内閣府認証分73団体の法人名・住所・連絡先電話・FAXの一覧です。

定価 500円（税込み）

2005年2月28日発行

発行 北海道NPOサポートセンター

【問合せ】

北海道NPOサポート

センター

TEL 011-204-6523

FAX 011-261-6524

E-mail

npo@mb.infosnow.ne.jp



NPO法人豆知識

NPO 法人の毎年度終了後の手続きはお済みですか？

1. 事業報告書等の提出について

NPO法人は毎事業年度初めの3ヵ月以内に前事業年度の事業報告書等を北海道に提出しなければなりません。(特定非営利活動促進法29条)書類の提出を怠ると20万円以下の過料に処せられます。(特定非営利活動促進法49条)民間の自発性・自主性にゆだね、行政の関与を出来るだけ少なくし、公開された情報を基に市民が判断し市民社会を築いていくというのがNPO法の精神です。法人として最低限のルールである事業報告書等を提出し、きっちり責任を果たしましょう。3月が年度末のNPO法人の皆さん、6月が事業報告書等の提出期限です。

事業報告書等とは、事業報告書・財産目録・貸借対照表・収支計算書・前事業年度の役員名簿・前事業年度の社員のうち10人以上の名簿です。役員(理事・幹事)と社員(会員)の名簿については住所を記載することになっています。(「NPOの参考書」(9ページ参照)には、提出書類のひな形を収録しています)

2. 役員任期について

定款の役員任期の条項を確認してください。2項は入ってますか？4項があるからって安心できません。定款の変更をお勧めします。

【定款の役員条項】

第 条 (役員任期) 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 2. 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合は、役員任期は、任期の末日後最初に開催された社員総会の終結のときまでとする。
 3. 補欠又は増員による役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
 4. 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。
 -----以上2点についてチェックされることをおすすめします。(北村)

情報BOX

福祉有償運送について

昨年3月の国交省・厚労省合意に基づく「福祉有償運送」について、そのひとつの手法として「道路運送法80条」によってボランティア運送の許可事業者になる方法があります。要件は、非営利法人(社福、NPOなど)で安全運転講習実施、車両管理者設置、福祉車両使用などです。(普通乗用車使用には「セダン型特区」申請が必要)この場合、北海道または、市町村合が「運営協議会」(行政、学識者、事業者、利用者等で構成)を設置して、申請事業者の許可を行います。現在、道では全道一円あるいは支庁単位といった広域での指定は考えていません。よって、道内では各市町村単位で「運営協」を設置する方向になっています。いままでのところ、運営協設置自治体は、歌登町、南富良野町、知内町のみです。予定のところは、秩父別、江別など80市町村だそうです。札幌市の動向ですが、9月上旬の運営協開催を目指して準備が進んでいます。(セダン型特区申請はしない。)札幌市内で「福祉有償運送」を実施中または、これから実施予定のNPO法人は、情報を収集し、態勢の整備(安全運転講習、車両の整備等)をすすめていただきたいと思います。札幌以外の福祉NPO法人のみならず情報収集をお願い致します。(2ページを参照してください)

NPO全国フォーラム2005北陸信越会議
「地域の力で」

～ひとが育つ、しくみが活きる、くらしが変わる
 全国フォーラム(上越市にて開催)
 2005年8月20日(土) 14:00~18:00
 (懇親会18:30~20:30)
 2005年8月21日(日) 9:00~16:30
 開催場所 上越市厚生南会館及びその周辺(新潟県上越市)
 主催 NPO全国フォーラム2005北陸信越会議実行委員会
 参加対象 全国のNPO関係者及びNPOに関心のある方(セクターや分野は問いません)
 参加費 両日参加10,000円(宿泊費、食事は含みません)
 部分参加 6,000円(1日単位)
 懇親会 3,500円(参加費の振込時にご入金ください)
 参加定員 1000名(定員になり次第締切り)
 参加申込 8月1日(月)〆切
 問合せ先 NPO全国フォーラム北陸信越会議実行委員会
 〒943-0834 新潟県上越市西城町2-3-9
 (くびき野NPOサポートセンター内)
 TEL.025-521-5293(直通) FAX.025-521-5294
 E-mail npo2005@kubikino-npo.jp

国家主権フォーラムのご案内

日時 平成17年7月29日(金)開場 18:00
 開会 18:30~21:30 参加費 無料
 場所 札幌市民会館 大ホール(札幌市中央区北1西1)
 内容 第一部 基調講演『国と北海道の未来のために~故郷を愛する心を育む~』講師 三宅久之氏 国政政治評論家
 第二部 パネルディスカッション
 『国と北海道の未来のために~国民としての行動へ~』
 コーディネーター 吹浦忠正氏 東京財団常務理事
 アドバイザー 町村信孝氏 外務大臣(公務変更あり)
 パネラー 三宅久之氏 国際政治評論家
 児玉泰子氏 北方領土返還要求運動連絡協議会事務局長
 濱口和久氏 県土・竹島を守る会設立世話人(松江JC)
 本間 浩氏 法政大学人間環境学科教授
 主催 (社)日本青年会議所北海道地区協議会
 問合せ先 TEL 011-222-1439 FAX 011-222-5801
 E-mail info@sapporo-jc.or.jp

さっぽろピースデイズ・2005実行委員会へのお誘い
 2005年は、第二次世界大戦が終わってからから60年、ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下されてから60年の年です。2000万人以上のアジアの人びとの生命を奪い、日本人にも多くの犠牲を強いたこの戦争は、明治憲法下の日本帝国が行なった侵略戦争でした。
 そして1945年8月15日を境に、日本は軍国主義から平和主義の国に、国家主義から民主主義の国に変わりました。
 それから60年、いま世界は再び戦争の時代に入っています。私たちの住む札幌からも、自衛隊が戦闘の続くイラクに派遣されました。戦後60年を機会に、もう一度、平和と民主主義の大切さをかみしめ、「戦争をしない」という誓いをたてたいと思います。
 そして、この「戦後60年」「ヒバク60年」を一つの契機にして、札幌市が、地域からの平和づくりにもっと積極的に取り組んでいくようになることを強く望んでいます。
 そのために2005年7月~8月を「さっぽろピースデイズ2005」と名づけ、札幌市内の市民団体やNPO、宗教者グループ、労働組合などによる実行委員会をつくり、講演会、コンサート、写真展などさまざまなイベントを、札幌市内で連続して行います。ぜひ皆さんに、この計画にご

参加ください!

「さっぽろピースデイズ・2005」実行委員会

7月「さっぽろピースデイズカレンダー2005」作成

8月・市民を対象に、平和を訴えるさまざまな催し物を行なう。11日イラク写真展inアメリカ報告会

13日 国際シンポジウム「戦後60年を考える—アジアと私たちの未来」札幌平和宣言を発表

<参加費> 団体 1口¥2000,個人1口¥1000

ほかに、賛同金として 1口 ¥1000を募る

事務局 ほっかいどうピースネット TEL/FAX:
011-261-6883(ピース カフェ内)

メール: has27630@snow.odn.ne.jp

コンカリーニョからイベントボランティア募集のお知らせ

1. イスラエルダンスのワークショップ

<http://www.concarino.or.jp/concari/data/050711.htm>

日時: 7月11日(月)~13日(水)19:00~22:00

会場: パトス 内容: 受付・記録 集合: 1時間前

他に、講師のシュロミ・ピトン氏の観光案内役

(昼間・英語出来る人希望)

2. 赤れんが アーティスト公開オーディション&パフォーマンス広場『2005 北海道パフォーマンス見本市』

<http://www.concarino.or.jp/akarenga/>

日時: 7月23日(土)13:00~18:00

24日(日)10:00~15:00 30日(土)13:00~18:00

31日(日)10:00~15:00 予備日7月27日(水)・28日(木)

会場: 道庁赤れんが庁舎 前庭

内容: オーディション及びパフォーマンス広場の運営

集合: 土曜日10:00・日曜日9:00から終了後1~2時間

打ち合わせ: 7月10日(日)予定

3. 琴似飲食店組合夏祭り Beerフェスティバル

日時: 7月31日(日)12:00~19:00

会場: JR琴似駅前広場

内容: 朝~設営手伝い、昼間~パフォーマーのお世話・
チラシまき 終了後~撤収手伝い

4. 劇団どくんご公演第21番『ベビーフードの日々』

<http://homepage3.nifty.com/dokungo/>

日時: 8/5(金)6(土)19:30

会場: 円山公園自由広場

内容: テント設営及び撤収(8/3~7)

問い合わせ info@concarino.or.jp 電話011-615-4859

<NPO法人コンカリーニョ 事務局>

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介 パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援 助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります)詳細はお問い合わせください。

電話011-204-6523(担当:畑)

下記の助成金情報については助成元からの依頼情報(抜粋)です。インターネット環境にないNPOのみなさんに、募集要綱などのFAXサービスを行います。(NPO推進北

海道会議または北海道NPOサポートセンター会員へのサービスです。)

コミュニティケア活動資金助成プログラム

(東レ&住友生命社会福祉事業団)

第5回コムケア資金助成プログラムのご案内

単なる資金助成だけではなく、また支援する側と支援される側にわかれるのではなく、みんなで支えあいの輪を育てていこうという点が、このプログラムの特徴です。

資金助成とは別に、活動の相談に乗ったり、交流会を行ったりもしています。

新しいプロジェクト起こしの具体的な相談も含めて、申請書の書き方や計画づくりの相談にも応じます。こんなプロジェクトを他の団体と一緒に始めたいがパートナーがほしいというような相談にも応じます。

<<プログラム概要>>

1. 支援対象となる団体(団体の規模や法人格の有無は問いません。)

本プログラムの理念(相互支援の輪づくり)に共感し、他の団体に対して、連携もしくは支援していこうという姿勢があること。

日本国内に活動拠点があり、活動場所が国内であること。政治団体、宗教団体、営利団体などは除く。

2. 支援対象となる活動

だれでもが安心して快適に暮らせる社会づくりをめざして活動する団体

新しいプロジェクト

貴会の活動に新しい広がりをもたらすプロジェクトであれば対象になります。詳しくは事務局にご相談下さい。

3. 資金助成内容(資金助成総額500万円)

・資金助成額は一律30万円(10団体)です。

・最終選考に残り、公開選考会で資金助成先とならなかった10団体には活動支援補助費として10万円(10団体)を助成します。

・他にイベント支援(10団体)を別途募集します。*10月頃(予定)

4. 応募条件

次の4つの条件を予めご了解の上、ご応募ください。

相互支援活動の輪づくりに参加していただきます。

応募された申請書は公開最終選考の際、選考資料として参加者に公開されます。

最終選考に残った場合、東京で行なわれる選考会で応募プロジェクトについての発表を行なっていただきます(旅費は事務局で負担します)。

資金助成が行なわれた場合、当該プロジェクトの活動状況などをコムケアセンターのホームページに投稿していただきます。

5. 応募期間 6月20日(月)~8月15日(月)

応募用紙はHPから取り出すか、直接事務局宛て請求下さい。ホームページアドレス:

<http://homepage2.nifty.com/comcare/>

6. 問い合わせ先 コミュニティケア活動支援センター
〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目37-8本郷春木町ビル9階

(電話)03-5689-0957

(FAX)03-5689-0958

(メール)comcare@nifty.com

お問い合わせ歓迎します!

~みんなの「やってみよう!」で街を元気にしよう~
モス夢チャレンジ2005

「ワクワクタウン大作戦」大募集!!

今年で3回目となる地域貢献型の公募キャンペーン

「あなたが住んでいる街を楽しく元気にする活動」を一般の方から募集します。選考により3チームを選出し、その活動を応援するために、モスバーガーから1チームあたり50万円の作戦費をお渡しします。2名以上で構成されるチームによるご応募とすることで、作戦が大きな輪となって地域社会に広がることを目指しています。

募集内容 :あなたが住んでいる街を楽しく元気にする活動を募集します。

応募される活動の企画から実施運営まで、全て応募者が責任を持って行うことを条件とします。

活動期間 平成18年2月1日(水)~平成19年3月31日(土)の間

年間を通した活動でも、短期で終了する活動でもかまいません。

活動場所 応募者が「住んでいる街」の皆さんが元気になる活動であれば、活動を行う場所は規定しません。

応募資格 : 年齢、性別、国籍は問いません。ただし、活動は2名以上のチームで行うことを条件とします。活動管理のため、15歳以上の方が最低1人はご参加ください。

応援チーム数 : 3チームまで

応援金額 : 作戦費として1チームあたり50万円をお渡しします。

応募締め切り : 平成17年8月31日(水)必着

応募方法 : 店頭設置のエントリーシートに必要事項をご記入の上、ご郵送ください。または、モスバーガー・ホームページ(<http://www.mos.co.jp/>)でもご応募いただけます。携帯サイトからはご応募いただけません。

審査方法 : 一次審査 エントリーシートによる審査
合格者には9月下旬にお知らせいたします。その後、10月下旬までに詳しい作戦プランを提出していただきます。二次審査 詳しい作戦プランについての審査

二次審査合格者には11月下旬にお知らせします。

最終審査 作戦プラン発表・審査会

発表・審査会は平成17年12月に東京の会場で実施を予定し、二次審査通過者には当日お集まりいただきます。

結果発表 : 平成18年1月に店内のポスターとモスバーガー・ホームページで発表

その他・エントリーシートや作戦プランは返却いたしません。作戦費をお渡しするチームには、活動報告書の提出をお願いいたします。また、モスバーガーの広報活動にご協力いただくことがあります。

・一次及び二次審査の結果は、合格チームにのみお知らせします。

応募先および読者のお問い合わせ先:

〒162-8501 東京都新宿区笹塚町22番地
株式会社モスフードサービス 応募先 モス夢チャレンジ2005「ワクワクタウン大作戦」事務局 行
お問い合わせ・・・「お客様相談室」

TEL.0120-300-900 9:00~17:30

ユニバーサル財団

「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした市民活動助成高齢者を対象とした市民活動は、これからの社会を支えていくために不可欠な社会資源となっています。一方、高齢者自身の社会参加も活発になっています。

ユニバーサル財団では、豊かで活力ある長寿社会の実現をめざして、一人ひとりが生き生きと充実した人生を送ることができる新しい世紀の社会づくりやコミュニティ再構築等の活動に助成を行います。

21世紀は、また、「グローバル市民社会」と言われます。

活動は国内に止まらず、世界に拡げて、助け合うことが大事ではないでしょうか。当プログラムでは、国際支援・交流等を行っている市民活動団体にも広く活動助成を行います。

市民活動助成応募要項

助成の対象

特に次の項目に該当する団体を助成対象とします。

1. 高齢者が活動する市民活動団体
2. 高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体

助成期間および金額 1年間。原則として1件当たり100万円を限度といたしますが、助成額については活動内容、および規模により査定をさせていただきます。

助成金の使途 市民活動、または催し物等の事業に直接要する諸経費

(既に終了した活動・事業については含みません。)

応募方法 当財団所定の申請書に必要事項を記入の上、当財団あてご送付ください。(紛失等のトラブルを避けるため、なるべく書留や宅配便でお送りください。)

助成にあたって

助成が決定した活動・団体につきましては公表いたします。助成年度もしくは事業完了後に「報告書」を提出していただきます。

応募締切日 平成17年7月31日(必着)

発表 平成17年11月1日予定

助成金振込 平成17年11月中旬予定

申請書類送付先 財団法人 ユニバーサル財団

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階

TEL.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008

E-mail: info@univers.or.jp

URL: <http://www.univers.or.jp/>

次号予告 8月号では、事業型NPOに欠かせない「融資」(ろうきん、札幌NPO元気基金、国民生活金融公庫など)と「NPO越智基金」助成金について掲載予定

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海学園大学教授)
杉岡 直人 (北星学園大学教授)
杉山さかえ (北海道グリーンソフト 理事長)
事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人
NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>

相談センター / 研修室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
札幌ビル8階 電話011-271-5208

FAX011-281-8807